

# 「伝承」と「創造」の教科横断的カリキュラムの開発Ⅱ

—教科横断による教科融合の検討—

花坂 歩・衛藤 俊明・釘宮 泰代・河野 晋也

Development of a Cross-curriculum that Creates "Tradition" and "Creation" II :  
Consideration on Subject Fusion Caused by Crossing Subjects

HANASAKA, A., ETOU, T., KUGIMIYA, Y. and KOUNO, S.

大分大学教育学部研究紀要 第44巻第1号

2022年9月 別刷

Reprinted From

RESEARCH BULLETIN OF THE

FACULTY OF EDUCATION

OITA UNIVERSITY

Vol. 44, No. 1, September 2022

OITA, JAPAN

## 「伝承」と「創造」の教科横断的カリキュラムの開発Ⅱ

### —教科横断による教科融合の検討—

花坂 歩\*<sup>1</sup>・衛藤 俊明\*<sup>2</sup>・釘宮 泰代\*<sup>3</sup>・河野 晋也\*<sup>4</sup>

【要 旨】 豊後大野市立菅尾小学校は令和3年度にジオパークを活用した教科横断的な授業開発に取り組んだ。本報告では、その内、第2学年から第6学年までの指導案を取り上げ、その教科横断性・融合性を検討している。結果、教科横断が学校全体のカリキュラムマネジメントの1つとして推進されていることを確認し、かつ、教科融合は教科横断によって生まれる偶発的現象であるという仮説を得るに至った。その他、ジオパーク学習と「相性の良い教科・領域」、「相性の良くない教科・領域」を提案している。

【キーワード】 教科横断 ジオパーク教育 カリキュラムマネジメント

豊後大野市立菅尾小学校では、平成30年度と31年度（令和元年度）にキャリアプランニング学習の研究開発に取り組み、令和2年度には「郷土教育」と「地域人材の活用」の充実を主軸とした総合的な学習の時間の研究開発に取り組んだ。中核にあるのは郷土を守る人材の育成である。そして、令和3年度には、「おおいた豊後大野ジオパーク」（日本ジオパーク認定）を学習素材にした教科横断的な単元開発によって、新しい知を生み出す人材の育成方法を模索している。本稿で報告及び考察するのは、その内、各学年で実践された教科実践についてである。

「ジオパーク教育」や「郷土教育」、「キャリア教育」のように、教科内容を超えたテーマを

---

令和4年5月20日受理

\*1 はなさか・あゆむ 大分大学教育学部言語教育講座（国語科教育）

\*2 えとう・としあき 大分市立三佐小学校・校長（前・豊後大野市立菅尾小学校校長）

\*3 くぎみや・やすよ 豊後大野市立菅尾小学校・教諭

\*4 こうの・しんや 大分大学大学院教育学研究科教職開発専攻（教科教育）

※本稿は豊後大野市立菅尾小学校にて開催された「公開研究発表会」（2021年11月18日）での口頭発表を経て、その一部をまとめたものである。



















